

資料 2

平成 2 9 年度  
林政部の施策及び予算の概要

# 平成29年度 林政部の基本方針

アンダーラインは総合的・重点的に取り組むプロジェクト、その他は重点施策

## 「第3期岐阜県森林づくり基本計画」のスタート

**新規・重点**

### 望ましい森林の姿へ誘導する「100年先の森林づくり」

「全国育樹祭」を踏まえた  
新たな取組み

#### 1 100年の森林づくり計画策定プロジェクト

- ◎ 100年先の望ましい森林の姿を示す「森林配置計画」の策定
- ◎ 「100年先の森林づくり」の普及推進

#### 2 100年の森林づくり計画実践プロジェクト

- ◎ 植栽の省力化に向けたコンテナ苗等の生産に本格着手
- ◎ 補助率の嵩上げ(68→85%)による主伐・再造林の促進
- ◎ 環境保全林・観光景観林・生活保全林の整備への支援

#### 3 100年の森林づくり計画人材育成・技術開発プロジェクト

- ◎ 地域の森林づくりを支える県独自の専門的人材である「地域森林監理士」の育成
- ◎ 獣害対策を含めた育林技術の開発・普及
- ◎ 森林技術者の労働負荷を軽減する育林補助機械の実証・現場への導入促進 等

・地震・豪雨から県民の生命・財産を守るための災害に強い森林づくりの強化

**継続・強化**

### 林業経営を重視した「生きた森林づくり」

#### 4 国内外への県産材需要拡大プロジェクト

- ◎ 東京オリ・パラ競技大会を契機とした首都圏等への販路拡大
- ◎ 韓国を中心としたアジア圏への輸出促進 等

・木材生産体制の強化（日独林業シンポの開催、林業専用道の整備 等）  
・木材流通体制の強化（ヒノキ材の需要拡大 等）

**継続・強化**

### 環境保全を重視した「恵みの森林づくり」

#### 5 地産地消型木質バイオマスエネルギー活用プロジェクト

- ◎ 小規模で地域毎に分散した木質バイオマス利用施設等整備への支援
- ◎ 未利用材の低コスト収集や加工システム構築への支援 等

・「ぎふ木育」の総合拠点整備と指導者育成  
・恵みの森を支える人づくりの促進

### 新たな「清流の国ぎふ森林・環境税」事業のスタート

- ① 「100年先の森林づくり」の推進（環境保全林・観光景観林【新規】・生活保全林【新規】の整備への支援、森林地域外の危険木除去への支援【新規】等）
- ② 自然生態系の保全と再生（ニホンジカ・イノシシ【新規】・カワウ【新規】の捕獲等への支援、魚類が生息しやすい水みちづくりの推進 等）
- ③ ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくり（小水力発電による環境保全の推進【新規】、木質バイオマス利用施設の導入促進 等）
- ④ 人づくり・仕組みづくり（「ぎふ木育」の総合拠点整備【新規】、森と木と水に関する環境学習の推進、上流域と下流域の交流促進 等）
- ⑤ 地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進（市町村提案事業、地域活動支援事業）

## 林政部の予算概要

### (1) 各課別予算額一覧表 (一般会計)

(単位：千円)

区 分	平成29年度予算額	平成28年度予算額	差引増減額
林政課	2,729,840	2,636,070	93,770
恵みの森づくり推進課	1,888,876	1,744,242	144,634
県産材流通課	1,468,726	1,399,198	69,528
森林整備課	6,440,626	7,803,408	△ 1,362,782
治山課	6,414,402	6,614,706	△ 200,304
合 計	18,942,470	20,197,624	△ 1,255,154

### (2) 特別会計

#### 林業改善資金貸付特別会計

(単位：千円)

区 分	平成29年度予算額	平成28年度予算額	差引増減額
県産材流通課	130,569	130,465	104
森林整備課	2,000	2,000	0
合 計	132,569	132,465	104

所 属	林政部林政課		
係 名	森林計画係	内線	3025

## 100年の森林づくり計画策定プロジェクト

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

1 事業費	56,457 (前年度 36,159)
	【財源内訳】
	【主な用途】
国庫	10,112 委託料 52,255
繰入金	4,000 旅費 1,268
諸収入	5 需用費 1,451
一般財源	42,340

### 2 背景・事業目的

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、将来の望ましい森林の姿を考えることが求められており、平成27年10月に揖斐川町で開催した「第39回全国育樹祭」では、世代をつないで豊かな環境、資源、文化を育む森林をつくる「100年先の森林づくり」を全国へ発信した。

このため、「100年先の森林づくり」の基盤となる将来の望ましい森林の姿を示す「100年の森林づくり計画(森林配置計画<sup>※1</sup>)」を策定し、県民にPRすることで、みんなで考える「100年先の森林づくり」運動へと展開・発展させていく。

### 3 事業概要

**新** (1) 「100年の森林づくり計画(森林配置計画)」の策定(12,700千円)  
「100年の森林づくり計画(森林配置計画)」策定のために実施する地域検討会の開催を、市町村に委託する。

**新** (2) 「100年先の森林づくり」の普及推進(7,300千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業(一部)＞

100年先を見据えた森林づくりに対する取組みについて、県民へのPRを行う。また、航空レーザ測量<sup>※2</sup>結果等を活用して森林資源の高精度解析等を行い、精度の高い「森林配置計画」の策定を支援する。

(3) 地域森林計画の策定(36,457千円)

地域森林計画を策定し、「森林配置計画」の基準を示すとともに、地域の森林づくりのマスタープランである市町村森林整備計画への反映を支援する。

※1 森林配置計画

…大まかなエリアごとに、長期的な視点と現状を踏まえて森林づくりの目標を定め、将来の望ましい森林の姿を示したもの(岐阜県独自の計画)

※2 航空レーザ測量

…航空機から地上にレーザ光を照射し、測定した地上までの距離と、照射時の位置情報により、地形の形状や標高等を調べる測量方法

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費  
(明細書事業名) ○地域森林計画編成費  
地域森林計画編成費 他

所 属	林政部恵みの森づくり推進課			林政部森林整備課		
係 名	緑化・水源林保全係、木育推進係	内線	3026、3028	整備係	内線	3194

## 100年の森林づくり計画実践プロジェクト

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

1 事業費 3,300,005 (前年度 3,433,197)

【財源内訳】

【主な用途】

国庫	2,030,418	補助金	3,213,250
繰入金	421,320	委託料	17,792
諸収入	650		
財産収入	1,138		
一般財源	846,479		

### 2 背景・事業目的

「100年の森林づくり計画(森林配置計画)」に基づき、4つの森林区分(経営、環境、観光、生活)に応じた森林整備を推進する。

### 3 事業概要

#### (1) 木材生産林への支援(2,729,922千円)

森林所有者等が実施する搬出間伐や作業道の整備等に対して助成する他、主伐・再造林に当たっての植栽や下刈り等の補助率のかさ上げを行う。

また、再造林に必要となるコンテナ苗の安定供給体制整備の支援と苗木生産技術の研究に取り組む。

#### (2) 環境保全林への支援(428,763千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業(一部)＞

奥山林や重要な水源となる森林において、森林の公益的機能を高めるため、間伐等の整備に対して市町村や林業事業体等へ助成する。

#### 新 (3) 観光景観林への支援(50,000千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

道路沿いなど地域の観光資源として期待できる森林において、景観を形成するための森林整備に対して市町村へ助成する。

#### 新 (4) 生活保全林への支援(91,320千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

人家・道路等の県民生活に密接する森林において、野生鳥獣の被害や気象害による倒木から住民の生活環境を守るため、緩衝帯の整備や危険木の除去に対して市町村や林業事業体等へ助成する。

(款)6 農林水産業費 (項)5 林業費 (目) (6) 森林整備費  
(明細書事業名) ○公共事業  
造林事業費 他

所 属	林政部林政課			林政部森林整備課		
係 名	政策企画係	内線	3019	整備係、森林組合担い手係	内線	3194、3197

## 100年の森林づくり計画人材育成・技術開発プロジェクト

＜森林整備担い手対策基金事業＞

1 事業費	39,391	(前年度	28,721)	
	【財源内訳】	【主な用途】		
	繰入金	2,200	旅費	6,807
	諸収入	18,990	補助金	8,240
	一般財源	18,201	備品購入費	4,670

### 2 背景・事業目的

「100年の森林づくり計画(森林配置計画)」を実践するにあたって、市町村林務行政における森林づくりに関する人材が不足しているため、地域の森林づくりを支える専門人材を育成するとともに、今後、求められる獣害対策を含めた育林技術を開発・普及する。

また、集約が困難な中小規模森林においても、意欲ある自伐林家を支援していく。

### 3 事業概要

#### 新 (1) 地域森林監理士の育成(2,200千円) <森林整備担い手対策基金事業>

市町村や地域の森林づくりを支える県独自の人材として「地域森林監理士」を養成・認定する。

#### (2) 獣害対策を含めた育林技術の開発・普及(24,211千円)

低コスト再造林のための育苗・植栽・初期保育技術の開発や低コストで手間のかからないニホンジカの獣害対策技術等を開発・普及する。

#### (3) 育林補助機械の実証・現場への導入促進(4,740千円)

「森林技術開発・普及コンソーシアム」を活用し、研究成果の発信や会員相互の情報交換を図るほか、森林技術者の労働負荷を軽減する育林補助機械の実証試験や現場への導入等を支援する。

#### 新 (4) 自伐林家が行う森林整備への支援(8,240千円)

中小規模の森林を所有する意欲ある自伐林家が行う森林整備を支援する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費 (明細書事業名) ○100年先の森林づくり事業費 100年の森林づくり計画策定事業費 他
---

所 属	林政部恵みの森づくり推進課			林政部森林整備課			林政部治山課		
係 名	木育推進係	内線	3028	整備係、林道係	内線	3194、3192	治山係	内線	3166

## 地震・豪雨から県民の生命・財産を守るための 災害に強い森林づくりの強化

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

1 事業費 5,782,665（前年度 5,822,944）

【財源内訳】

【主な使途】

国庫	2,101,298	工事請負費	4,614,970
県債	2,913,000	委託料	785,000
繰入金	128,370	補助金	210,047
一般財源	639,997		

### 2 背景・事業目的

近年、全国各地で地震災害や豪雨による土石流災害などが発生し、甚大な被害をもたらしている。本県においては、治山・林道事業を中心とした林業の基盤整備を実施してきたが、さらに事前防災及び減災対策が必要である。そのため、治山施設の設置やその機能の確保・強化、森林整備を進め、山地に起因する災害から県民の生活・財産を守るとともに、集落間をつなぐ林道の点検・整備により、県民生活の安全確保を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 治山事業の実施（5,572,298千円）

山地防災力の向上を図るため、荒廃山地の復旧、既存治山施設の機能強化、また、直下型地震により被災する可能性のある緊急輸送道路等の重要施設を保全する治山対策を実施する。

#### (2) 林道施設の点検診断、保全整備の支援（81,997千円）

老朽化や劣化損傷が見込まれる橋梁等の安全を確保するための点検診断、保全整備に対して市町村へ助成する。

#### (3) 溪流沿いの森林の間伐への支援（37,050千円）

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

手入れが不十分な溪流沿いの13齢級（61～65年生）以上のスギ・ヒノキ人工林の間伐に対して市町村や林業事業体等へ助成する。

#### 新 (4) 生活保全林への支援（91,320千円）[再掲]

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

人家・道路等の県民生活に密接する森林において、気象害による倒木から住民の生活環境を守るため、危険木の除去などに対して市町村や林業事業体等へ助成する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (5) 治山費  
(明細書事業名) ○ 単独事業  
治山事業費 他

所 属	林政部県産材流通課		
係 名	県産材需要拡大係	内線	3015

## 国内外への県産材需要拡大プロジェクト

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

1 事業費 241,905（前年度 271,379）

※前年度額には、平成27年度3月補正予算額を含む。

### 【財源内訳】

国庫 54,298  
繰入金 57,000  
一般財源 130,607

### 【主な使途】

補助金 224,589  
委託料 13,200

## 2 背景・事業目的

人口減少社会を見据えた県産材の販路拡大のため、県産材住宅の建設促進や公共施設の木造化・内装木質化を図るとともに、2020年東京オリンピック等関連施設での県産材の活用に向けたPRや首都圏等への県産材製品の販売を促進する。さらに韓国を中心としたアジア圏への県産材製品・加工品の輸出を促進する。

## 3 事業概要

### (1) ぎふの木で家づくりへの支援 (70,106千円)

県産材（ぎふ性能表示材・ぎふ証明材）を一定量使用した住宅の新築や内装木質化、バリアフリー改修等に対して施主へ助成する。

### (2) 県産材需要拡大施設等整備への支援 (115,799千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業（一部）＞

市町村等が行う公共施設などの県産材を利用した木造化・内装木質化等に対して助成する。

### (3) 県産材競争力強化・販路拡大への支援 (37,000千円)

新たな分野・地域に向けた新技術・新製品の開発、国内や海外への販路拡大、木造軸組住宅の海外技術者育成、県産材PR施設の建設等に関する取組みに対して助成する。

### 新 (4) 東京オリンピック等関連施設への県産材の活用促進 (6,000千円)

県内事業者等で構成する協議会においてPR活動を展開するほか、県産材を使用した新製品・デザイン開発等に対して助成する。

### (5) 県産材の県外販路拡大の促進 (3,800千円)

首都圏等において、岐阜・長野両県の連携による「ぎふ・信州の木（広域認証材）」の展示会の開催や建築イベントへの出展等を実施する。

### (6) 県産材の海外販路拡大の促進 (9,200千円)

木工関連事業者や行政機関等で構成する輸出協議会において、情報収集や課題の分析等を行うとともに、韓国の住宅資材展示会への出展や日本・韓国の団体が連携した木造住宅建築技術者の育成を支援する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費  
(明細書事業名) ○木材利用推進対策費  
県産材利活用推進費 他



所 属	林政部林政課			林政部森林整備課		
係 名	政策企画係	内線	3019	整備係、林道係、森林経営係	内線	3194、3192、3197

## 海外と連携した高度な木材生産体制の強化

1 事業費 2,706,880 (前年度 2,700,502)

※前年度額には、平成27年度3月補正予算額を含む。

### 【財源内訳】

国庫 1,864,935  
 県債 18,700  
 諸収入 620  
 一般財源 822,625

### 【主な用途】

委託料 54,296  
 補助金 2,566,235  
 備品購入費 9,774

## 2 背景・事業目的

木材生産体制を強化するため、海外連携による先進的な技術者養成手法を導入した人材育成や、生産基盤となる林業専用道の整備、高性能林業機械の導入を推進し、効率的な森林整備を推進する。

## 3 事業概要

- 新** (1) 「日独林業シンポジウム2017」の開催 (8,900 千円)  
 ドイツ・ロッテンブルク林業大学との人材・学術交流や、林業・木材産業関連企業との連携を深めるためのシンポジウムを開催する。
- (2) 海外連携の推進 (11,669 千円)  
 ドイツ・ロッテンブルク林業大学と森林文化アカデミーとの連携覚書に基づき、先進的な森林・林業技術や教育手法を導入する。
- (3) 次世代型林業架線技術の普及 (9,330 千円)  
 県が導入した欧州製林業架線集材機を使用した技術研修会を開催し、架線集材技術の普及・定着と技術者の養成を行う。
- 新** (4) 森林文化アカデミーバスの整備 (9,538 千円)  
 森林技術者養成のための研修を開催するに当たって、フィールド実習場までの移動手段として必要となるバスを整備する。
- 新** (5) 林業専用道の整備 (県代行事業) (41,676 千円)  
 幹線となる林道を補完し、木材の大量輸送に適した大型トラックが通行可能な林業専用道を整備する。
- (6) 森林整備事業の支援 (2,528,105 千円) [一部再掲]  
 森林所有者等が実施する搬出間伐や作業道の整備等に対して助成する他、主伐・再造林に当たっての植栽や下刈り等の補助率のかさ上げを行う。
- (7) 高性能林業機械の導入の支援 (97,662 千円)  
 林業事業体等が高性能林業機械を導入するための経費を助成する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費  
 (明細書事業名) ○森林文化アカデミー費  
 森林文化アカデミー運営費 他

所 属	林政部県産材流通課		
係 名	加工流通係	内線	3013

## 多種多様な木材需要に対応した木材流通体制の強化

### 1 事業費 13,800 (前年度 12,400)

※前年度額は、平成27年度3月補正予算額

#### 【財源内訳】

国庫 10,000  
一般財源 3,800

#### 【主な使途】

委託料 13,800

### 2 背景・事業目的

県産材利用を拡大するため、木材需要が旺盛な首都圏や中京圏での販路拡大を促進する。また、本県の代表的樹種であるヒノキの需要を拡大し、林業の成長産業化を図るため、生産から加工、利用に至るまでの流通体制を構築する。

### 3 事業概要

#### 新 (1) ヒノキ材の需要拡大 (10,000 千円)

G I SなどのICT (情報通信技術) を活用した効率の良い木材生産と地域内でのカスケード利用※を推進するため、「林業成長産業化地域」をモデル的に1カ所選定する。

モデル地域内において、ヒノキ材の生産・加工・利用といった流通体制整備の他、展示会への出展、WEBカタログによる情報発信等による販路拡大活動を支援する。

#### (2) 県産材の県外販路拡大の促進 (3,800 千円) [再掲]

品質の確かな木材製品であることを証明する「ぎふ性能表示材」について、首都圏・中京圏における販路を拡大するため、岐阜・長野両県の連携による「ぎふ・信州の木 (広域認証材)」として木製品展示会や建築イベントへの出展を行う。

※カスケード利用

木材を品質に応じて、建築用の柱材や、合板、燃料等として利用すること

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費  
(明細書事業名) ○木材利用推進対策費  
県産材利活用推進費

所 属	林政部県産材流通課		
係 名	資源活用係	内線	3013

## 地産地消型木質バイオマスエネルギー活用プロジェクト

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

＜森林整備加速化・林業再生基金事業＞

1 事業費 346,534（前年度163,313）

【財源内訳】

【主な用途】

国庫 215,082

補助金 344,460

繰入金 125,254

一般財源 6,198

## 2 背景・事業目的

県内において伐採された木材のうち、約6割が森林内に放置されており、その有効利用が求められている。燃料の輸送コストを考えると、地域内で燃料生産及び燃料供給し、地域内でエネルギー利用できる地産地消型が望ましい。

このため、未利用材の安定供給体制の整備を図るとともに、地域ごとに小規模分散型の木質バイオマス利用施設の整備を行う。

## 3 事業概要

(1) 木質バイオマス燃料安定供給体制の構築 (1,115千円)

木質バイオマス燃料の地域協議会の設置や、現地研修会を開催する。

**新** (2) 未利用木材の低コスト収集及び加工システム構築の支援 (5,000千円)

中間土場の設置や、中間工場までの移動式チップの運送費用に対して助成する。

(3) 県民協働による未利用材の搬出の支援 (5,000千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

市町村、地域住民が一体となって未利用材を搬出する取組みを促進するため、搬出された未利用材の買い取り経費を助成する。

(4) 木質バイオマス加工流通施設等整備の支援 (215,165千円)

木質バイオマス燃料の加工・流通施設等の整備に対して助成する。

(5) 地産地消型木質バイオマス利用施設等整備の支援 (85,254千円)

＜森林整備加速化・林業再生基金事業＞

地域で産出した未利用材を地域で利用する中小規模の熱電併給施設等の整備に対して助成する。

(6) 木質資源ストーブ・ボイラー等の導入の支援 (35,000千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

公共施設や多くの県民が利用する商業・観光・レジャー施設等への木質資源ストーブ・ボイラー等の導入経費を助成する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費  
(明細書事業名) ○ 林業・木材産業構造改革事業費  
林業・木材産業構造改革事業費 他

所 属	林政部恵みの森づくり推進課			林政部県産材流通課		
係 名	木育推進係	内線	3028	県産材需要拡大係	内線	3015

## 「ぎふ木育」の総合拠点整備と指導者育成

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

＜森林整備担い手対策基金事業＞

1 事業費	219,274	(前年度	110,900)
	【財源内訳】	【主な用途】	
	繰入金	174,440	工事請負費 180,490
	一般財源	44,834	委託料 12,093
			補助金 23,915

### 2 背景・事業目的

「ぎふ木育」の基本方針を示す「ぎふ木育30年ビジョン」に基づき、段階的、継続的な教育を進めるための総合拠点を整備するとともに指導者を育成する。

### 3 事業概要

#### (1) 総合木育拠点の整備 (194,834 千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業（一部）＞

「ぎふ木育」の総合拠点施設となる「森の恵みのおもちゃ美術館（仮称）」を岐阜市宇佐地内に整備する。また、施設で使用するぎふの木のおもちゃの開発・製作や、スタッフとなる「木育おもちゃ学芸員（仮称）」を養成する。

#### (2) 「常設版ぎふ木育ひろば」の整備等の支援 (24,000 千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

「ぎふ木育」の総合拠点施設と連携し、地域の木育拠点となる「常設版ぎふ木育ひろば」の整備を支援する。

また、「ぎふ木育」を強化していくため、学校等への「ぎふ証明材」を使用した木のおもちゃや木製学習教材の導入等を支援する。

#### 新 (3) 木育指導者の育成 (440 千円)

＜森林整備担い手対策基金事業＞

「ぎふ木育」の総合拠点整備に向け、「ぎふ木育」を推進していくための指導者を育成する「木育指導者セミナー」を実施する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費  
(明細書事業名) ○緑化推進費  
緑化推進費 他

所 属	林政部恵みの森づくり推進課								
係 名	恵みの森づくり係	内線	3028	木育推進係	内線	3028	緑化・水源 林保全係	内線	3026

## 恵みの森を支える人づくりの促進

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

1 事業費	46,232	(前年度	48,832)	
	<b>【財源内訳】</b>	<b>【主な用途】</b>		
	国庫	1,541	補助金	24,600
	繰入金	35,000	報償費	4,790
	諸収入	18	旅費	3,171
	一般財源	9,673	需用費	3,398

## 2 背景・事業目的

県内の森林を健全な状態で次の世代につないでいくため、地域団体や市町村とともに、清流の国ぎふの環境保全や活用に携わる人づくり等を促進する。

## 3 事業概要

### (1) 木育・森林環境教育の推進 (12,000 千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

幼児期から高等学校等まで段階的に木育・森林環境教育を進める。

### (2) 恵みの森づくりコンソーシアムの推進 (890 千円)

企業、NPO等からなる「恵みの森づくりコンソーシアム」の活動を促進する。

### (3) 地域のニーズに基づいた環境保全活動の支援 (23,000 千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

地域が主体となった森林づくりや水環境保全等の活動を促進するため、NPOなどが行う取組みに対し支援する。

### (4) ぎふ森林づくりサポートセンターの設置 (7,219 千円)

県内で取り組まれるさまざまな森林づくり活動の情報を集約・発信する「ぎふ森林づくりサポートセンター」を設置する。また、里山づくり後継者養成講座等の開催を行う。

### (5) 企業との協働による森林づくりの支援 (572 千円)

企業、市町村、地域住民等の協働による森林づくり活動に対し支援する。

### (6) 木の国・山の国県民運動活動の実施 (1,010 千円)

森林づくりに対する県民の理解を深めるため、「山の日フェスタ」の開催等による啓発活動を実施する。

### (7) 森林・山村多面的機能発揮対策の推進 (1,541 千円)

森林の多面的機能を発揮させるための地域団体の活動を支援する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費  
(明細書事業名) ○緑化推進費  
緑化推進費 他

所 属	林政部恵みの森づくり推進課	環境生活部自然環境保全課
係 名	恵みの森づくり係	内線 3028
		自然環境企画係
		内線 2696

## 「清流の国ぎふ森林・環境税」による使途事業

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞

1 事業費 1,285,000（前年度 1,329,046）

【財源内訳】

繰入金 1,285,000

【主な使途】

補助金 977,254

委託料 67,629

工事請負費 190,000

## 2 背景・事業目的

管理されず荒廃した森林の増加、外来生物の繁殖、水環境の悪化などにより、森林や河川の持つ公益的機能の低下が懸念されていることから、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、自然環境の保全・再生のための取組みを行う。

## 3 事業概要

### （1）「100年先の森林づくり」の推進（554,000千円）[一部再掲]

奥地にある水源林の整備、集落近くの里山林や生活保全林の整備、危険な樹木の除去、観光振興につながる森林整備を実施する。

### （2）自然生態系の保全と再生（279,000千円）

有害鳥獣の対策として、ニホンジカに加え、イノシシ、カワウの捕獲等を支援するとともに、河川清掃、ため池等での外来種の駆除、魚が移動しやすい水環境整備等を実施する。

### （3）ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくり（45,000千円）

環境にやさしい社会づくりを進めるため、木質バイオマスを利用したボイラー等の導入に加え、出力の低い小水力発電の整備を支援する。

### （4）人づくり・仕組みづくり（264,000千円）[一部再掲]

自然環境保全のための人づくり・仕組みづくりを推進するため、公共施設等の木造化・内装木質化や木製学習教材導入への支援、森と木と水に関する環境学習等を実施する。

### （5）地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進（143,000千円）

[一部再掲]

地域のニーズに沿った自然環境保全活動を促進するため、地域団体や市町村が提案する環境保全の取組みに対し支援する。

（款）6 農林水産業費（項）5 林業費（目）(6) 森林整備費  
（明細書事業名）○単独事業  
造林事業費 他